令和4年度(令和5年度実施)事務事業評価表

事業整理番号 0207 政4

事	務事業名	男女共同	可参画的	啓発事	業関係経	費	担当	組織 総	務部_	男	女平等推進	生センター
事業特性												
		事業開始年度	30年月	度以前	事業終了年度		計画	/一般	計画	計画事業No. 2	2- 3-	1-1
		単独/補助	区单独	虫事業	運営形態	直営	関連	するSDGsの	カゴール	1 3	5 10	16 17
	事業を構成 る予算事業	① 男女共	共同参画	啓発事	業関係経費		2				•	
政	策体系	(令和4	年度基	:本計画	国)		•					
地	或づくりの方向	多様性を	尊重し合	えるまち)		政策		男女	共同参画社	会の実現	1
	施策	あらゆる分	野におけ	る男女	共同参画の推	推【重点】	政策番号	•		2-3-1		
関:計	連する個別 画	第5次とし	ま男女共	同参画	推進プラン			計画策定度	令利	14年度 計画	画期間 5-2	年
1.	事業の	概要・扌	旨標の遠	達成状	況				•			
)実施の対象 k体的に記載)	区民及び	男女共同]参画・3	ジェンダー平	等関連事業	業に関心の	ある方、『	事業者、	行政		
) 業の目的・期 する効果				一平等・多様 一平等・多様							こおいて
(;	3)事業概要				/ダー平等社 実施する。							協働に
4	4年度の 取組内容 4年度に 実施した 具体的な 業務内容	①啓発事業講座 主催 4事業実施 参加者延156名 共催 13事業実施 参加者延422名 男女共同参画都市宣言記念講演会 1事業実施 参加者143名 区制90周年記念講演会 1事業実施 参加者92名 エポック10フェスタ 参加者延667名(イベント407名・展示260名) ②えぼっく・めいかーNO.51 発行部数2,500部 区民企画会議計8回開催										
	成甲华珊	成果指標					HI		и ош)11 III.		
) 目	成里指煙		成果	指標		目指す 方向性	単位	3年度 (実績)	(計画	4年度	(達成率)	5年度 (計画値)
標	尹木口1示	①「性別等に」			る」と思う区民の割合	方向性		3年度	(計画	4年度) (実績)	(達成率)	
標の達	事業目標 の 達成度 』		より、差別された	い社会であ	る」と思う区民の割合	方向性	単位	3年度 (実績)	(計画 33.	4年度 (実績) 0 27.4		(計画値)
標の達成	事業目標 の 達成度 』		より、差別された	い社会であ		方向性	単位 %	3年度 (実績) 29.7	(計画	4年度 (実績) 0 27.4	83.0	(計画値) 36.0
標の達	事業目標 の 達成度 <i>〕</i>	② 「講座を通して男 ③	より、差別された 男女共同参画社会に	よい社会であ		方向性	単位 % 点	3年度 (実績) 29.7 4.3	(計画 33. 4.	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1	83.0	(計画値) 36.0
標の達成状	事業目標 の 達成度 <i>〕</i>	② 「講座を通して男 ③	より、差別された 男女共同参画社会に	い社会であ	かけになったか」の平均点	方向性 プ 直②各講座受 ダーギャップ	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125	(計画 33. 4. J点(5点流 立)や多科	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 続点)	83.0 91.1	(計画値) 36.0 4.5
標の達成状	事業目標の の 達成度 / 指標の説明	②「講座を通して男 ③ ①協働のまた	より、差別された 男女共同参画社会に ちづくりに関 未達成 一部未達成	い社会であっいて考えるきっ	かけになったか」の平均点意識調査の数値①最近のジェン	直②各講座受グーギャップ影響及び人	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 り②男女共「 3年度	(計画 33. 4. ロ点(5点流 立)や多得 司参画社会	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 続点) な性目認、性自 会への認識の深 4年度	83.0 91.1 91.1 91.1 91.1 91.1 91.1 91.1 91	(計画値) 36.0 4.5 に対する発 寺水準の上 5年度
標の達成状	事業目標の成度 達成成度 指標の説明 未達成の 状況	② 「講座を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成	より、差別された。 別を共同参画社会に らづくりに関 未達成。 一部未達成 活動	い社会であ	かがになったか」の平均点 意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇	方向性 プ ②各講座受 ダーギャップ 影響及び人: 目指す 方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま	3年度 (実績) 29.7 4.3 トによる平均 116位、125 均②男女共 3年度 (実績)	(計画 33. 4. J点(5点流 立)や多利司参画社会	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 高点) るな性目認、性自 会への認識の深 4年度 (実績)	83.0 91.1 9指向の人々 まりに伴う期を (達成率)	(計画値) 36.0 4.5 に対する発 寺水準の上 5年度 (計画値)
標の達成状	事業目標の成度 達成成度 指標の説明 未達成の 状況 活動指標 事業の	② 「講座を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成	より、差別された。 別された。 のでくりに関いています。 未達成。 一部未達成 活動 活動	ch社会であ ついて考えるをつ オナる区民 Etcは 成の理由 力指標 議会等の	かけになったか」の平均点意識調査の数値①最近のジェン	方向性 「クーギャップ」 影響及び人 目指す 方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 %	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 均②男女共「 3年度 (実績) 36.6	(計画 33. 4. ロ点(5点滞 立)や多特司参画社会 (計画 42.	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 点点) な性目認、性目 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8	83.0 91.1 9指向の人々り まりに伴う期名 (達成率) 95.0	(計画値) 36.0 4.5 4.5 に対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0
標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業目標の 達成成度 指標の説明 未達成の 状況	② 「講座を通して男 ③ ③ ①協働のまむ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・	はり、差別された 男女共同参剛社会に あづくりに関 未達成 一部未達原 活動 減機関・審	はい社会であったいで考えるきったは、は、対して民民ない理由 力指標 議会等の	意識調査の数値 ①最近のジェン言などの報道の 昇	方向性 プ ②各講座受 ダーギャップ 影響及び人: 目指す 方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件	3年度 (実績) 29.7 4.3 トによる平均 116位、125 均②男女共 3年度 (実績) 36.6	(計画 33. 4. J点(5点流 立)や多利司参画社会 (計画 42.	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 5 4.1 6点) 6次性目認、性自 6会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17	83.0 91.1 91.1 (連成率) 95.0 113.3	(計画値) 36.0 4.5 4.5 を対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0
標の達成状況(5)	事業目標の 達成の 指標の説明 未達成の 状況 活動業状況 実施状況	② 「講座を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・ ③ 講座・講 ①審議会等に	はり、差別される あな共同参画社会に あづくりに関 ・一部未達原 ・活動 ・機関・審部 共催事学 演会・シネ に関する調	はい社会であ ついて考えるをつ 対する区民 性なの理由 力指標 議会等の マ・フェス 査資料(4	ががになったか」の平均点 意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇 女性の参画率 を夕等参加者数 企画課)から各年	方向性 プ 直②各講座受 ダーギャップ 影響及び人 目指す 方向性 プ 手度4月1日時	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会中・	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 り②男女共 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 조政連絡会	(計画 33. 4. 対点(5点流 立)や多利司参画社会 (計画 42. 1 1,55	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 結点) 様点) 様点) 様点) 様点) 様点) 様点) 様点) 様点)	83.0 91.1 91.1 91.1 91.1 (達成率) 95.0 113.3 105.9	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490
標の達成状況 (5)取組	事業目標の 達成の 指標の説明 未達成の 大規模の 大 大規模 大規模 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	② 「講座を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・ ③ 講座・講 ①審議会等に	はり、差別された。 別な共同参画社会に あづくりに関 ・本達成 ・一部未達原 活動	はい社会であ ついて考えるを 対する区民 または 域の理由 力指標 議会等の マ・フェス 査資料(な の平均)	がればなったか」の平均点 意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇 女性の参画率 タ等参加者数 企画課)から各年 値②主催講座及	方向性 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会中・ 、関係機関と	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 均②男女共「 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 区政連絡会の共催事業	(計画 33. 4. の点(5点湯 可言を画社会 (計画 42. 1 1,55. ・区職員の 数③共催	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 点点) な性目認、性質 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17 60 1,642 のみで構成されて事業を含めた各	83.0 91.1 91.1 9指向の人々 (達成率) 95.0 113.3 105.9 こいるものを除事象参加者数	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490
標の達成状況 (5)取組実	事業目標の 達成の 指標の説明 未達成の 状況 活動業状況 実施状況	② 「講座を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・ ③ 講座・講 ①審議会等に	はり、差別される あな共同参画社会に あづくりに関 ・一部未達原 ・活動 ・機関・審部 共催事学 演会・シネ に関する調	はい社会であ ついて考えるをつ 対する区民 または 域の理由 が指標 議会等の を を を で を で が で が に は 成の理由 で で で で の で で で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	ががになったか」の平均点 意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇 女性の参画率 を夕等参加者数 企画課)から各年	方向性 「空後講座受 ターギャップ 影響及び人) 「自指す 方向性 「大方向性 「大方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会関と 成メンバーと	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 均②男女共 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 区政連絡会 の共催事業 する附属機関	(計画 33. 4. 可点(5点混 可)や多利司 司参画社会 (計画 42. 1 1,55 ・区職員の 数③共催 場等におい	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 結点) 総な性目認、性質 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17 60 1,642 のみで構成されて事業を含めた各 いて、女性の絶対	83.0 91.1 91.1 9指向の人々 (達成率) 95.0 113.3 105.9 こいるものを除事象参加者数	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490
標の達成状況 (5)取組実	事業の成度 指標の説明 未達成況 活事施 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明	② 「講座を適して見 ③ ① 協働のまむ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・ ③ 講座・講 ①審議会等における	より、差別された。 多女共同参画社会に 5づくりに関 ・一部未達成 ・一部未達成 ・演会・シネ に関する。 大性の割 ・未達成	はい社会であ ついて考えるをつ 対する区民 または 域の理由 が指標 議会等の を を を で を で が で が に は 成の理由 で で で で の で で で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇 女性の参画率 を呼参加者数 企画課)から各年 値②主催講座及 学識経験者(専	方向性 「空後講座受 ターギャップ 影響及び人) 「自指す 方向性 「大方向性 「大方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会関と 成メンバーと	3年度 (実績) 29.7 4.3 小による平均 116位、125 均②男女共 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 区政連絡会 の共催事業 する附属機関	(計画 33. 4. 可点(5点混 可)や多利司 司参画社会 (計画 42. 1 1,55 ・区職員の 数③共催 場等におい	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 結点) 総な性目認、性質 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17 60 1,642 のみで構成されて事業を含めた各 いて、女性の絶対	83.0 91.1 91.1 9指向の人々 (達成率) 95.0 113.3 105.9 こいるものを除事象参加者数	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490
標の達成状況(5)取組実績	事業の成 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明 本様状況 指標の説明 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 、 大きな、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きなな、 大きなな 、 大きなな 、 大きな、	② 「講席を通して見 ③ ① 協働のませ 未達成 ① 区の附属 ② 主催・講 ・ ② 講座・講 ・ 会等における 一 の推移	より、差別された。 多女共同参画社会に 5づくりに関 ・一部未達成 ・一部未達成 ・演会・シネ に関する。 大性の割 ・未達成	はい社会であ ついて考えるをつ 対する区民 または 域の理由 が指標 議会等の を を を で を で が で が に は 成の理由 で で で で の で で で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	意識調査の数値 ①最近のジェン 言などの報道の 昇 女性の参画率 を呼参加者数 企画課)から各年 値②主催講座及 学識経験者(専	方向性 「空後講座受 ターギャップ 影響及び人) 「自指す 方向性 「大方向性 「大方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会関と 成メンバーと	3年度 (実績) 29.7 4.3 4.3 小による平均 116位、125 り②男女共「 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 区文 連絡会会 フナ催属機関 対よるでし	(計画 33. 4. 可点(5点混 可)や多利司 司参画社会 (計画 42. 1 1,55 ・区職員の 数③共催 場等におい	4年度 (実績) 0 27.4 5 4.1 結点) 総な性目認、性質 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17 60 1,642 のみで構成されて事業を含めた各 いて、女性の絶対	83.0 91.1 91.1 91.1 (達成率) 95.0 113.3 105.9 こいるものを除 事象参加者数 対数が少ない、	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490
標の達成状況(5)取組実績(2)	事業の成 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明 未達成況 指標の説明	② 「講席を通して見 ③ ③ ① 協働のませ 未達成 ② 主催・ ③ 講座・講 会等における 一部未達成 ② 性移	より、差別された。 多女共同参画社会に 5づくりに関 ・一部未達成 ・一部未達成 ・演会・シネ に関する。 大性の割 ・未達成	はい社会であ ついて考えるをつ 対する区民 または 域の理由 が指標 議会等の を を を で を で が で が に は 成の理由 で で で で の で で で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	意識調査の数値 ①最近のジェン言などの報道の 引力を 女性の参画率 を を は の は で は で の を は の を を の を し の は の を を の を を り の を も の を も を り を り に り と り を り と り と り と り と り と り と り と り と	方向性 「空後講座受 ターギャップ 影響及び人) 「自指す 方向性 「大方向性 「大方向性	単位 % 点 講者アンケー 指数(120位、 権意識の高ま 単位 % 件 人 点で休会関と 成メンバーと その理由の一	3年度 (実績) 29.7 4.3 4.3 小による平均 116位、125 均②男女共 3年度 (実績) 36.6 15 1,264 区の共催事業 対る所属機関 対端となってい	(計画 33. 4. 可点(5点混 可)や多利司 司参画社会 (計画 42. 1 1,55 ・区職員の 数③共催 場等におい	4年度 (実績) 0 27.4 .5 4.1 結点) なな性目認、性質 会への認識の深 4年度 (実績) 0 39.8 5 17 60 1,642 ひみで構成されて事業を含めた各 いて、女性の絶対 られる。	83.0 91.1 91.1 91.1 91.1 (達成率) 95.0 113.3 105.9 いるものを除事象参加者巻	(計画値) 36.0 4.5 4.5 た対する発 寺水準の上 5年度 (計画値) 44.0 17 1,490

2. 争未負の推修								
単位		3年度		4年度			5年度	
	金額の項目:千円 人数の項目:人	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R4決算比)
事業費		1,864	1,399	4,170	3,462	83.0%	3,031	-431
人	【正規(人数)】		(0.70)		(0.98)		(1.05)	
件	【会計年度任用職員等(人数)】		(0.20)	_	(0.08)		(0.18)	
費	人件費 B B	_	6,670		8,576		9,573	998
事業費(人件費含む) C=A+B		_	8,069		12,038		12,604	567
	国、都支出金							0
財 源 使用料・手数料 内 地方債・その他								0
								0
a/C	一般財源 E=C-D		8,069		12,038		12,604	567

総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策 5指標のうち3指標が未達成ではあるが、そのう 【指標の達成状況(a)】 根拠 →S、A,、B、C、Dの5段階で評価 ち1指標は着実に実績を伸ばしているため ※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。 (1)令和4 ①目標に対する成果状況を踏まえた課題 年度 男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実 成果と 施、手法の工夫が課題である。 課題 ②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 男女共同参画社会実現に尽力する個人や団体の活動及び交流の場の提供 若年層や男性が参加しやすいよう土日祝日・平 【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 根拠 S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ 日夜間やオンラインでの開催を検討する ※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。 ①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) |男女共同参画社会の実現に資するため、これまで参加の少なかった若年層・男性などの興味をひく啓発事業の企画・実 施、手法の工夫が課題である。 ②現状の実施状況における所管課の認識 後期基本計画の施策2-3-1,2を推進するためのメイン 事業の中に環境変化に合わなくなったも 無 選択の理由 事業であり、今後も引き続き実施していく 区の政策判断や方針の事業への迅速・着実な反映や国・ 直営や委託等の様々な手法を比較 無 選択の理由 検討しているか。 都の動向への柔軟な対応を図るため (2)業務 (事務) サービスに係るコストは適正か 適正 選択の理由最小の人員・経費で多種多様な事業を実施している 改善に 統合した方が効率的にできる可能 (有の場合) 事業名 むけて 無 性のある事業はあるか。 の取組 4 ③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況 対応、改善を既に 取組内容及 はい はい オンライン化に資するWiFi環境整備 有 措置 行った 対応・改善予定 (上記ではいの 場合は更なる) 対応、改善の予定がない理由 無 有 選択肢に 予定 対応、改 善の内容 関わらず 若年層・男性参加促進の取組み 令和6年度 予算 予算措置を伴わない実施と 予算措置を 無 有 有 措置 の比較検討 伴う理由 意識調査の結果からも、区として啓発に一層注 【区が実施する必要性(c)】 Α S、A,、B、Cの4段階で評価 ⇒ 拠 力する必要があると考えるため ※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。 ①区が実施する理由(複数選択可) 区の他の事業より注力すべき事業である 法律の要請を受けて行う事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック 0 (3)必 民間事業者等に同様のサービスがない。 その他 (理由) 要性/ 優先 ②区民ニーズ 度 区民ニーズを 有 有 3 2 表す指標 (活動) (成果) ス利用 50名以上 「有」「無し 者数 推移 推移 もに記入 区民ニーズに 区民一人ひとりの人権と多様性が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同 対する認識 参画社会実現のため、実施する啓発事業であり、区民ニーズは高い。

4. R5年6月末時点の状況 ①令和5年度 当初の課題・多様な性自認・性的指向関連事業・啓発の充実 2国・都の動き (関係法令の改 正・補助金の創性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律施行 設・方針の変更 ③令和5年度 の方向性・取 |多様な性自認・性的指向の人々に関する理解の促進及び当事者支援に関する事業の企画・実施 組方針(事業 展開) ④令和5年度 の事業進捗 |理解促進事業企画内容決定 区民向け講演会及び映画上映(期日 11月25日、会場 としま産業振 状況(6月末 |興プラザ多目的ホール) 時点) ⑤区民等か <mark>らの事業に対</mark>令和5年度は豊島区パートナーシップ制度を開始して5年目にあたり、当事者団体から何らかのイベ <mark>する意見・要</mark>ントを企画実施できないかという声があった。 6上記5に 本事業の企画実施 対する対応 次年度は周年事業の計画がないため、現状予算内 今後の事業費予算要望(e) 現状維持 根拠 で工夫して実施する 今後の事業の方向性(d+e) B:改善・見直し (現状の評価および施策評価を踏まえた評価) 《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現のため、ジェンダーギャップ指数の推移に留意しつつ、施策の活動 指標に関連する女性の就労・自己実現に係る事業を主催・共催で企画・実施するとともに、年齢・性別等に関わら ず多くの区民の参加を促せるよう、引き続き啓発事業の工夫・充実に努めていく。